

春三月	幸于難波宮	之時歌 六首		
春の三月に	難波宮にいります	時歌 六首		
春の三月に	難波宮にいります	時の歌 六首		
如眉	雲居介所見	阿波乃山 懸而榜舟	泊不知毛	
眉のごと	雲居に見ゆる	阿波の山 懸けて漕ぐ舟	泊り知らずも	
まよのごと	くもゐにみゆる	あはのやま かけてこぐふね	とまりしらずも	万葉集 卷六 998
眉のように	雲居に見える	阿波の山に 向かって漕ぎ行く舟は	どこに泊まるのか	舟王

<https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/>